

自然じねんに学ぶ (4)

自然道家
三戸唯裕

大器たいぎはなぜ晩成ばんせい？

「桃・栗3年、柿8年」という言葉がありますように自然の中で生きている物はすべて自然に実る迄の時間というものがありません。芽を出し花が咲き実みがなる迄にはそれなりに必要な時間が必要だということです。

ところが現代は人工的に超短波をかけて野菜の促成栽培をしたり、人工太陽で一日に日の出を一度作り、ワトリに2倍の卵を生ませたりします。



あの高名な「朝鮮人参」も山奥の荒地で20年も30年もの年月をへて自然に育った「朝鮮人参」と営利本意に3年から5年

で促成栽培された「朝鮮人参」では効果がまるで違います。

電子レンジで調理された大根の味と、とろ火でコトコト煮込んだ大根の味を比べてみて下さい。自然の時間をへて作られたものと無理に時間を縮めて作られたものとは味覚も栄養も違います。

人間のはからいで無理に時間を縮めることは物の本質を歪よこしまめることで決して最高のものではないのです。

現代のお母さんは子育てにも促成栽培を試こころみようとしていませんか…。

幼稚園から進学塾に通わせ、いい大学へ、いい会社へと夢を描きます。

でもここでちょっとご主人の高校の同窓会名簿を見て下さい。受験の為に無理を重ねていい大学、いい会社に入った人が、今どんな地位を得ていますか、年若くして力尽きているのではないのでしょうか。人間が一応完成する迄には60年という歳月が必要で、せめてその半分の30年30歳になった子供を見て評価を与える心のおおらかさを持って生きて下さい。

健康法を始めるにも健康食品を飲むにも私達は即ぐ効くことばかりを望んでいます。新薬のように即ぐ効くものは必ず体の

どこかにひずみを生じるものです。

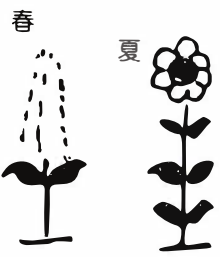
貴女の体を作っているすべての細胞が死滅して完全に新しい細胞に生まれ変わるのに6年の歳月が必要です。どんな健康法をしても本当に体質改善ができるには最低6年は必要だということです。6年がかりで完全に体質改善した体と半年や1年で調子が良くなった体とは健康の程度がまるで違うのです。これは自然の理だからしかたないことです。

美容も本物の美容を志こころさせばそれなりに自然にきめられた時間が必要です。あせってシミを漂白したり、削り取ったりすることは肌自身の美しさも歪よこしまめてしまいます。

入浴のたびに漢邦のヌカ袋で磨き自然の歳月をかけて手入れされた貴女の肌は豊穡とよせきにしてゆるぎない本物の美しさに変貌していることでしょう。



自然の心を大切に



現代人は自然の心を忘れがちですが、「当然かかるとしてかける。」を自然の心としてかける。この自然の心を忘れてはならないと思います。